



BEET 政府認証マフラー

NASSEERT Evolution Type II
YAMAHA YZF-R25 ('19)

取扱説明書

▲ 注意 作業前に必ずお読み下さい。

パッケージの内容を下の写真でご確認下さい。

- 取り付け作業に関しましては、設備の整ったバイクショップ又は、パーツショップに作業依頼することをお勧めします。
- 取り付け作業者は、必ず取り付け説明の各項目、注意事項、部品構成を理解した上で、作業を進めてください。
- 作業をされたショップの作業者は、ノーマルパーツ及び説明書などは必ずユーザーの方へお渡し下さい。



1	エキパイ	7	サイレンサーステーセット
2	集合部	8	エキパイガスケットセット
3	サブサイレンサーセット	9	耐熱シリコン
4	テールパイプ	10	スプリングセット
5	サイレンサー	11	保証書セット
6	サイレンサーバンドセット		

I ノーマルマフラーの取り外し

※ 詳しくはメーカーサービスマニュアルを参照してください。



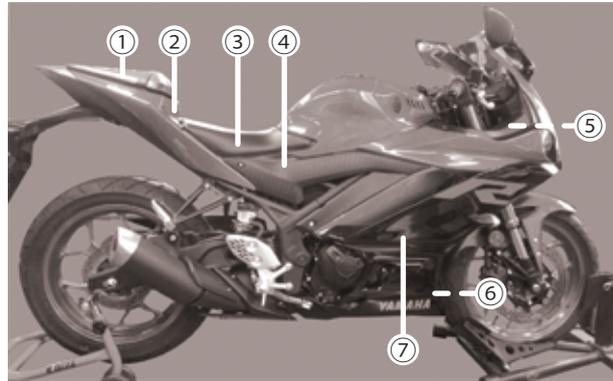
注意

走行後マフラーは非常に高温になっております。十分冷ましてから作業を行ってください。

【 外装の取り外し 】

以下の順に取り外します。

- ① リアシート
- ② カバー
- ③ フロントシート
- ④ サイドカバー
- ⑤ インナーパネル
- ⑥ インナーパネル
- ⑦ 右側アンダーカウル



【 ノーマルマフラーの取り外し 】

O₂センサーを取り外します。

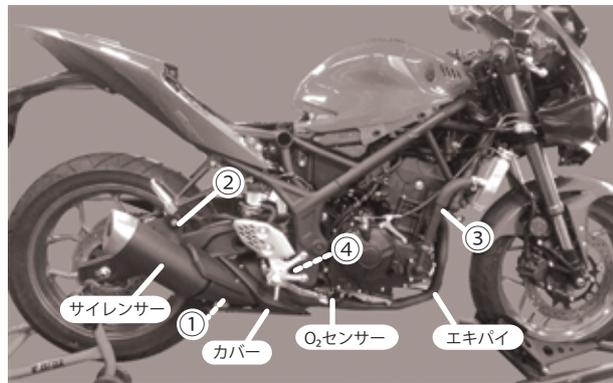
カバーを取り外します。

①クランプボルト②のボルトを外し
サイレンサーを後方へ取り外します。

③ナット④ボルトを外し

エキパイを取り外します。

※③ナット④ボルト，ワッシャーは
ナサートマフラー取付時使用します。



II ナサートマフラーの取り付け準備 1

【 サイレンサーステーの取り付け 】

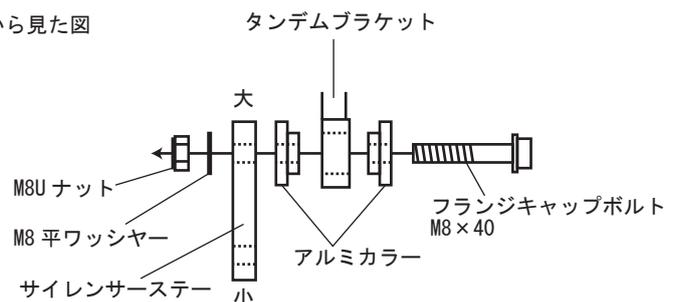
- ノーマルダンパー、
カラーを取り外します。



- 付属のダンパーカラー
サイレンサーステーを
取り付け
仮締めしておきます。



上から見た図



Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 1

【 エキパイの取り付け 】

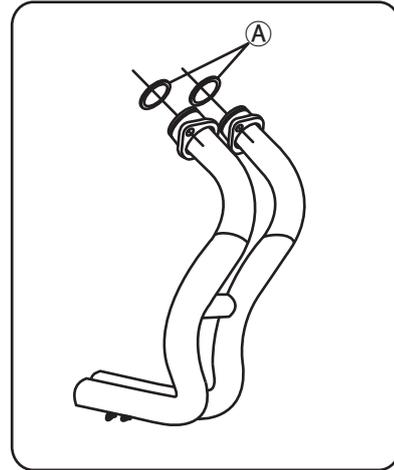
- エキパイガasketを付属①に交換します。

HINT

耐熱シリコンを少量塗っておくと落下防止になり
取り付けやすくなります。

- ノーマルのナットを使ってエキパイを取り付けます。

仮止めの状態にしておきます。

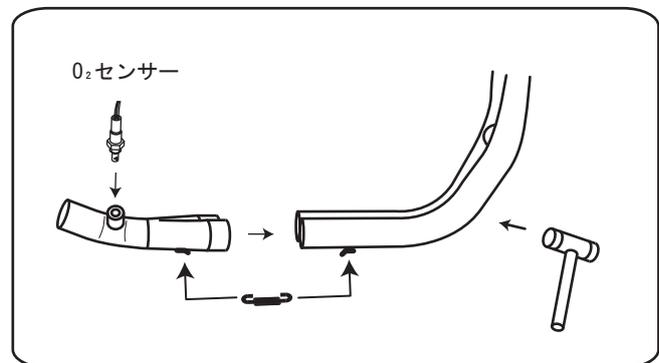


【 集合部の取り付け 】

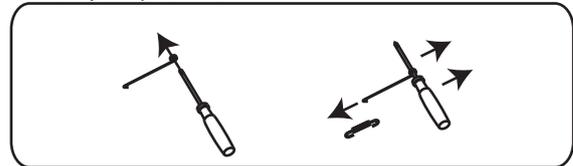
- O₂センサーを集合部に取り付けます。
- 集合部をエキパイに取り付けます。
- 組み立て時、差し込み部分に薄く耐熱シリコンを塗布してください。
- エキパイに集合部を差し込み
スプリング(2個)を取り付けます。

HINT

集合部のジョイント部分は高精度に出来ていますので、
プラスチックハンマー等で軽く振動を与えながら
慎重に組み立てます。

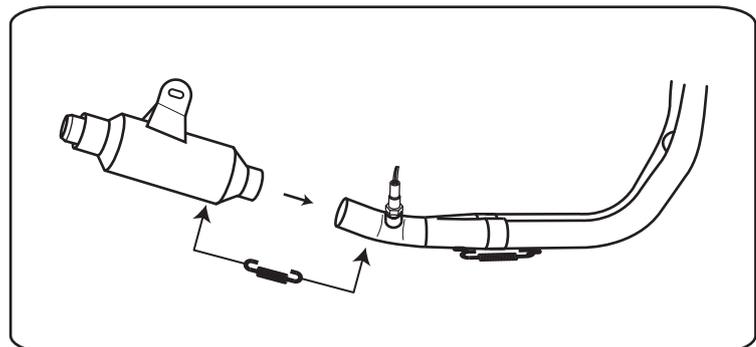
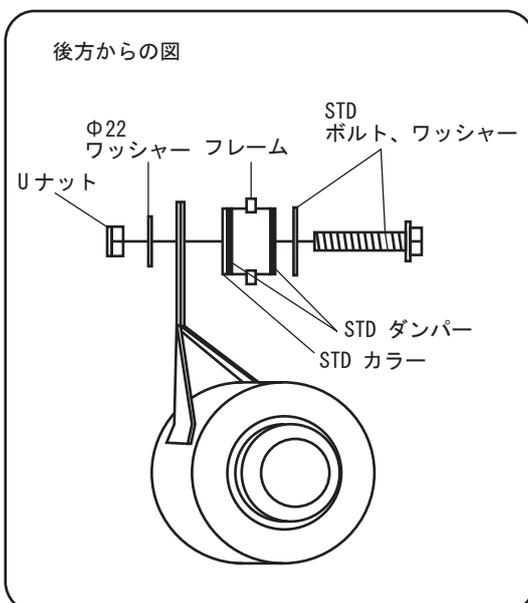


スプリングツール



【 サブサイレンサーの取り付け 】

- 図のように取り付け
ステーを仮締めします。

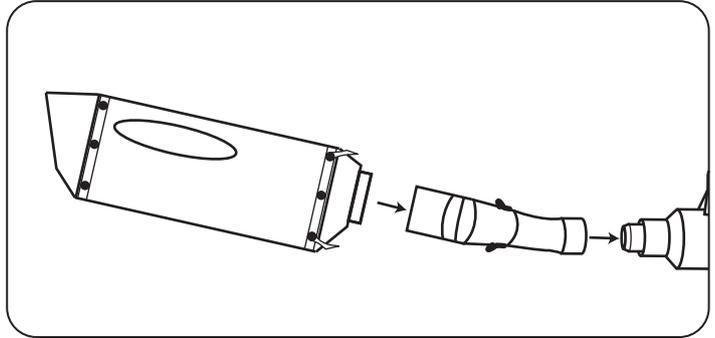


- フレームのダンパー、カラーは STD の状態で
STD のボルト、ワッシャーを使用して
付属のワッシャー、Uナットで取り付けます。
(仮締めの状態にしておきます。)

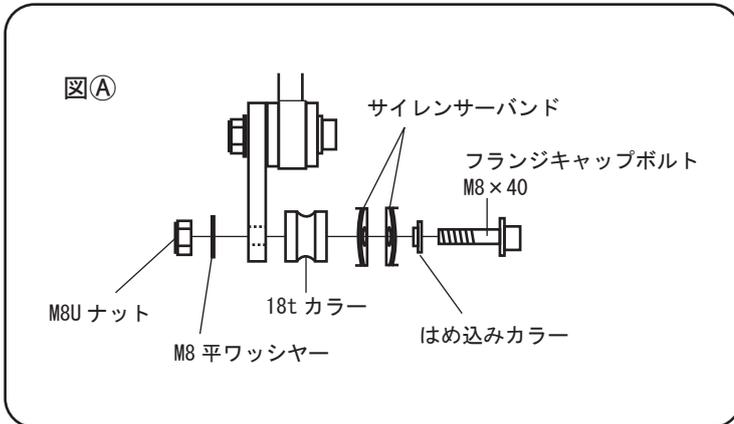
Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 2

【 テールパイプ、サイレンサーの取り付け 】

- テールパイプ、サイレンサーを取り付けます。



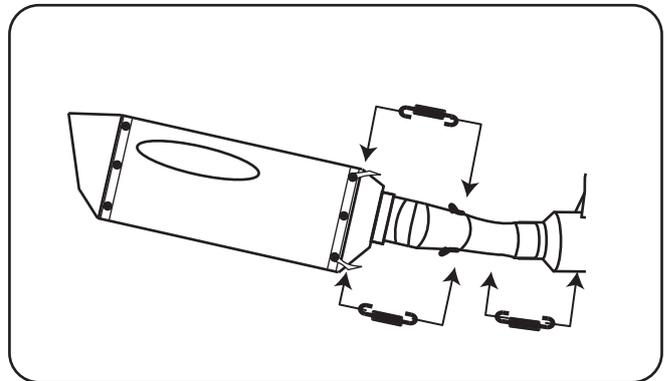
- サイレンサーにサイレンサーバンドを通しサイレンサーバンドを図①のように取り付けます。



- ※ 仮締め状態でステーの角度を写真のようになるよう調整します。



- スプリングを取り付けます。



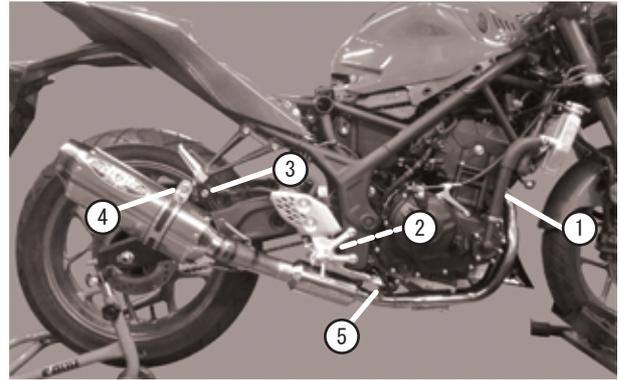
⚠ この時点で各パーツがフレーム等と干渉していないかチェックしクリアランスを調整します。

Ⅲ ナサートマフラーの取り付け

【 本締め 】

次の順で本締めしていきます。

- ① エキパイフランジナット
- ② サブサイレンサステー
- ③ タンデムブラケットとサイレンサステー
- ④ サイレンサステーとサイレンサーバンド
- ⑤ O₂センサー



! ①エキパイフランジナットは均等に締め付けを行ってください。
ボルト、ナットを痛めたり排気漏れの原因となります。

【 外装の取り付け 】

取り外した逆の順序で取り付けます。

標準締め付けトルク		
下表はねじ部の直径によって決まる標準締め付けトルクです。 値はいずれもパーツクリーナー等で洗浄した後の乾燥したねじ部に対するものです。		
ねじ部直径 (mm)	N・m	kgf・m
5	4.5	0.46
6	8.0	0.82
8	20	2.0
10	35	3.6
12	60	6.1

- 各部ボルト、ナットの締め忘れがないか、干渉しているところがないか再度確認します。
- 本締めが完了したらエンジンを始動する前に、マフラー全体をパーツクリーナー等で脱脂します。

! 油分がついたままマフラーに熱が入ると焼色にムラが生じます。

- エンジンを始動し排気漏れがないか確認します。

! エンジンを始動するときは、換気のよい所で行ってください。

- すべてのボルト・ナットは定期的にチェック、増し締めを行ってください。